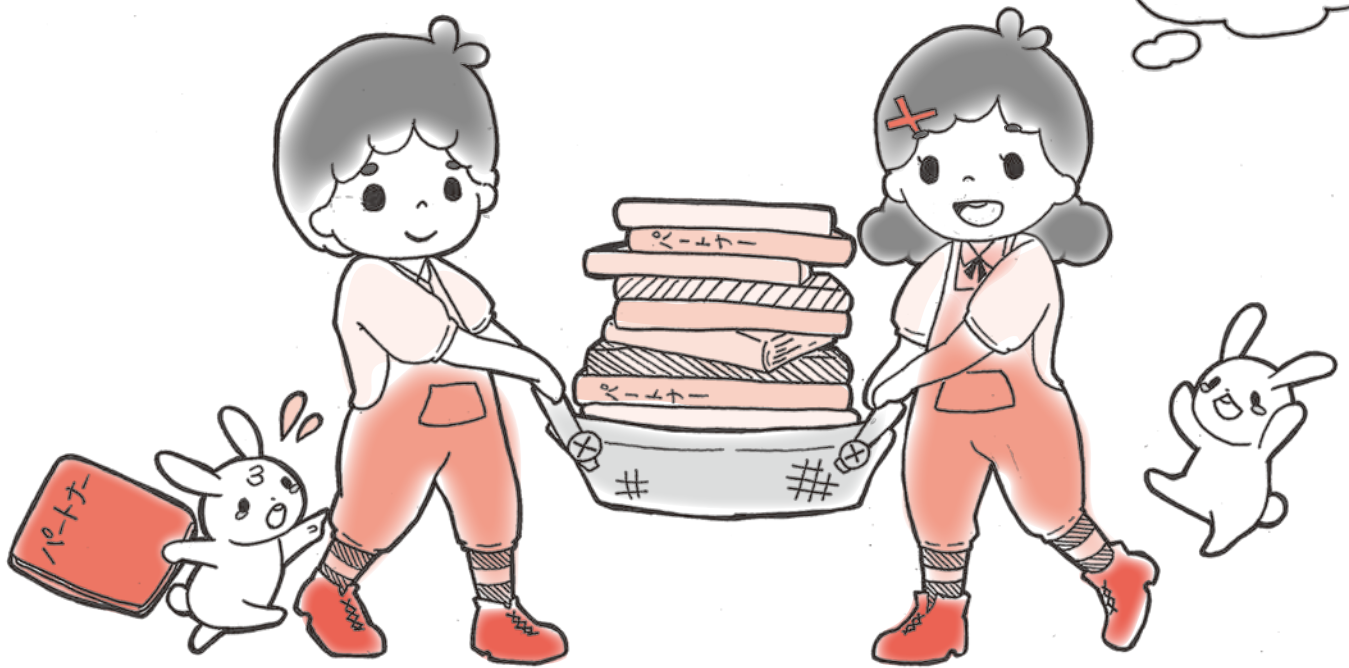


# パートナー

Vol.50



絵：ほほ みずほ

## 3分でわかる男女共同参画のあゆみ あなたの1歩で変わります。

創刊50号を迎え、今回の特集は蕨の男女共同参画が社会のあゆみと共にどう進ってきたか、絵本風に仕上げってみました。

主人公はパートナー創刊の1988年に生まれたパー(兄)とナー(妹)の双子。2人の成長の軌跡を通して、今彼らが直面している問題を考えてみましょう。

Partner  
パートナー Vol. 50 2016.3

蕨市男女共同参画情報紙  
パートナーとは…

女性と男性が共に明るい地域社会を築き上げようという意味で、市民の皆さんと市が共に手をたずさえていこうという願いが込められています。

特集	絵本で見る男女共同参画「パートナー」表紙～P5
インタビュー	頼高 英雄 蕨市長 P6
インフォメーション	P7
イクメン・料理男子フォトコンテスト結果発表	P8

## 女性

性の社会進出が進みつつも、  
まだまだ「男は仕事、女は家庭」が  
あたりまえだった時代、

パートとナーは生まれました。  
結婚して大好きだった仕事を辞めたお母さんは、

毎日、家事に育児に大忙し！  
「ナーが就職する頃には、結婚しても  
働き続けることができる社会になってほしいわ」と  
心から願っていました。

### 1988年～の出来事や流行語

- ・アグネス論争(88)
- ・男女家庭科必修化(89)
- ・24時間タカエマスク(89)
- ・WHO、高齢出産の該当年齢を30歳から35歳に引き上げ(90)
- ・ブルマー廃止(94～)



## 共

働き世帯が専業主婦世帯を上回り始めた頃、

パートとナーは小学生でした。

ちよっぴり子育てに余裕ができたお母さんも、

パートのお仕事へ。お母さんのお迎えを学童保育で待つ2人。

### 1995年～の出来事や流行語

- ・育児・介護休業法設立(95)
- ・ガングロ、ヤマンバギャル(98)
- ・男女共同参画基本法施行(99)
- ・ストーカー(99)
- ・派遣法改正(00)
- ・2000年問題(00)





# 不

景気でお父さんの残業が減った頃、

パートナーは中学生になりました。

これまで仕事一筋だったお父さんが、

なんと！今朝はゴミ出しデビュー。

「これからは仕事も家庭も成果を上げてこそ一人前だ」とお父さん。  
ようやく家事分担の意識が芽生えてきたようです。

## 2001年～の出来事や流行語

- DV防止法施行(O1)
- アメリカ同時多発テロ(O1)
- カメラ付き携帯電話(O2)



「お母さんって、いつもゆっくり休む時間ないよね。」  
「うん。だからぼくたちがおうちのお手伝いをしてあげなきゃ。」



## 保

育士を目指すパーは短大へ。

化学者になりたいナーは、理系大学へ進学。

「お互い同性の同級生が少ないね。」

「うちの学校も、理系の方が就職率が高いのに、

女子少ないよ。」

### 2007年～の出来事や流行語

- ・リーマンショック(08)
- ・育児・介護休業法改正(10)
- ・介護休暇(10)
- ・イクメン(10)

## 家

庭科の男女必修から10年が経った頃、

パーとナーは高校生になりました。

「もうすぐ進路相談かぁ。将来は子どもに関わる仕事をしたいなあ。ナーは進路どうするの?」

「私は化学の勉強がしたいから大学に行く!」

結婚しても子育てしながら、仕事を続けたいなあ。」

と、2人は将来に夢を膨らませていました。



### 2004年～の出来事や流行語

- ・韓流ブーム(04)
- ・おれおれ詐欺(04)
- ・わらびファミリー・サポート・センター発足(05)
- ・ワーキングプア(06)
- ・格差社会(06)

そこへ、リーマンショックの影響が…。  
パーは就職を考え、四年生大学へ編入しました。



**そ**して現在、パーとナーは27歳になりました。

保育士になったパーは、イクメンパパが増えたことを実感。

「でも自分の将来を考えると、今の待遇では不安が…。」

一方、ナーは結婚・出産。

ところが、仕事と子育ての両立を支えてくれたお母さんに、

おばあちゃんの介護の負担が…。

「夫が育休を取ってくれるか、私が時短勤務を選べたらなあ。」

子育ても家事も介護も男女の協力が必要です。

多様な生き方を認める社会、

それが本当の

男女共同参画社会なのです。

#### 2011年～の出来事や流行語

- ・東日本大震災(11)
- ・女子サッカーW杯優勝(11)
- ・保育所不足(11～)
- ・IPS細胞(12)
- ・国際調査 女性役員比率  
1.1%(13)
- ・妊活(14)
- ・マタハラ(14)
- ・縣市男女共同参画パートナー  
シッププラン(第二次)策定  
(14)

# 期待しています！ 市民目線の「パートナー」

創刊50号を記念して今回は、蕨市の男女共同参画の取り組みやご自身の経験について、頼高市長に伺いました。

「以前、保育園の送迎をされていただきましたね。当時育児を分担されて良かったこと、大変だったことは？」

もう昔のことなんですが（笑）、保育園の送迎をしている父親は、ま

だ少なかったですね。共働きで、私は議員、妻はフルタイムの看護師でしたので、一緒に子育てするのはあたりまえでした。時間の都合を合わせやすいのは私でしたので、検診や予防接種などにも連れて行きました。子どもは存在そのものに幸せを感じますね。この時期の子どもの成長を見られるのはうれしかったです、仕事への活力にもなりました。大変だったのは、妻には夜勤の日があり、子どもたちを保育園に送るまでの一連のことを、すべてひとりで行う日があったことです。一部を手伝うのではなく、すべてをひとりでやったので女性の大変さは実感として理解しています。

「保育園の保護者会長をされていましたが、その経験は今に生かされていますか。」

「男女共同参画について、最近の蕨市の取り組みを教えてください。」

「いわゆる「イクメン」の先輩として後進へのアドバイスを。」

十年近く会長をやりました。行事の企画もやりました。私以外は女性の役員のため、父親にもっと参加してもらおうと思いい、「おやじの会」を作りました。具体的な仕事がある方が男性は来やすいと思い、親子で遊ぶ企画を立てたりしました。親同士付き合いは長く続いていますよ。

その時その時の貴重な体験が、後々の親子関係を作っていくと思います。子育ての期間は限られています。親子関係はずっと続きますからね。また、何かを一緒にすること。これも大切だと思います。同じ目標に向かって頑張ることで、親子のつながりが深くなります。私も市民ロードレース大会に親子で参加したことが、良い思い出となりました。

トDVを考える講演会を行いました。まだ早いという意見もありましたが、そのくらいの年齢の子に知ってもらうことが必要だと思えますね。さらに市内の保育園、学童保育施設を増やしているところです。

「他に力を入れている事業はありますか？」

女性の起業支援、コミュニティビジネスの促進です。女性はパワーがあります。チャレンジしている女性がたくさんいて、驚きました。また、防災の分野でも、運営メンバーに女性を増やし、女性の立場での避難所運営など意見を取り入れていきます。授乳室やトイレ、洗濯物の干し場などの配慮です。

「「パートナー」は市の計画により、市と協働で市民編集委員がボランティアで作成しています。今後、期待することは？」

市民目線の切り口で取り上げていくのが素晴らしいと思います。以前の企画で、蕨高校と武南高校の生徒の座談会がありました。あれも面白かったですね。これからも、市民が紙面に登場して、一緒に考えていくスタイルを続けてほしいです。



頼高 英雄 蕨市長

## プロフィール

1963年生まれ（52歳）・北町在住  
妻・長女（21歳）・長男（15歳）の  
4人家族  
2007年6月より蕨市長

## 男女共同参画地域推進モデル地区 北町地区の取り組み

昨年に引き続き、北町地区ではパパと子のクッキングスクールやパネル展などの事業を通して、男女共同参画のまちづくりを進めています。1月29日には、北町公民館で男女共同参画講演会「落語と歌を聴いて考える～誰もが住みやすい『世間』は作れるか?～」を開催。参加した30人は、落語を通して、男女共同参画を学びました。



千金亭値千金さんが創作落語を披露

## 蕨市協働提案事業 「デートDV防止啓発事業」を実施

男女間の交際が始まる若年期の生徒やその保護者に、デートDVについて正しく理解してもらうことで、デートDVの未然防止を図ろうと、市内3校の公立中学校で「デートDV防止講演会」が行われました。

これは、蕨市男女平等推進市民会議と蕨市市民活動推進室・学校教育課との協働提案事業として行われたもので、講師の湘南DVサポートセンター理事長の瀧田信之さんの話を聞いた生徒たちは、デートDVについての知識を深め、お互いを尊重することの大切さを学びました。



生徒にアドバイスを送る瀧田さん  
(第一中学校にて)

## 相談無料 ご利用ください各種相談

### ◇DV相談【蕨市配偶者暴力相談支援センター】

配偶者等からの暴力(DV)に関する相談に応じるほか、被害者の自立や支援に必要な情報の提供や関係機関との連絡調整、援助等を行います。予約は不要です。

月曜日から金曜日 8:30~17:15

(祝日・年末年始を除く)

※火・木(祝日・年末年始を除く)9:00~17:00は女性相談員が対応します。

### ◇女性の心と生き方相談

女性フェミニストカウンセラーが、あなたの心の整理をお手伝いしながら、一緒に解決の糸口を探していきます。事前予約制ですので、まずはお電話ください。

(相談時間は、1人50分間)

毎月第1~4金曜日 13:15~16:15

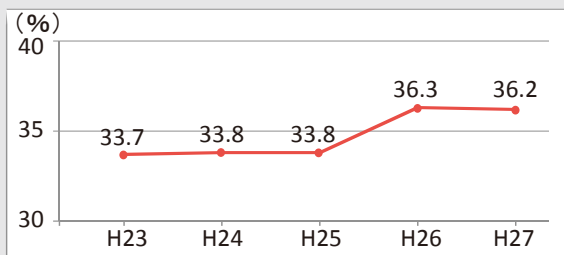
(祝日・年末年始を除く)

予約・お問合せ 市民活動推進室 Tel.048-433-7745

## 審議会における女性登用率 2年連続県内トップに!

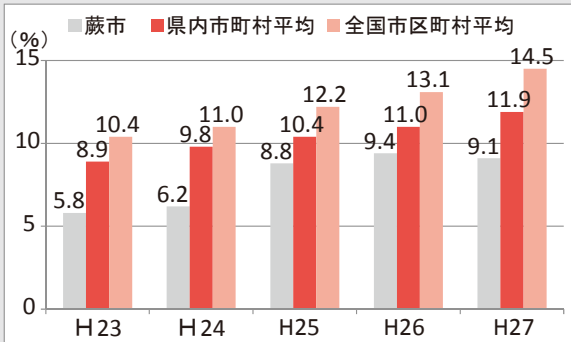
男女共同参画の進み具合を示す指標に審議会等の女性登用率と地方公共団体の女性管理職の割合があります。そのうち、蕨市の審議会等の女性登用率は2年連続で県内トップになりました。平成35年度までに40%達成を目指しています。

### 審議会の女性委員の登用状況



※審議会とは、市政推進にあたって特定の内容を市民や各種団体の意見を反映するために、法律等に基づいて設置されたものをいいます。

### 地方公共団体の管理職に占める女性の割合



※管理職とは課長及びこれに相当する職以上とします。

## 「パートナー」のバックナンバーは 市ホームページでご覧いただけます

右のQRコードを読み取るか、**蕨 パートナー** で 検索



## 編集後記

創刊から27年。男女共同参画社会実現の動向や課題をテーマに取り組んできました。編集委員自身もまた、子育て、世代の仕事を持つ女性の一人として、様々な問題と向き合いながら…。市では女性の審議委員や議員増加と明るい兆し、とはいえ共同参画社会はまだまだと実感した編集作業でした。(あ)

### パートナー 第50号

二〇二六年三月一日発行

企画編集 パートナー編集委員会

事務局 蕨市市民生活部市民活動推進室

編集委員 阿部三恵子 加藤光男

蔵迫祥子 杉山節子 新妻朋子

蕨市中央5-14-15

048-433-7745

siminst@city.warabi.saitama.jp

# 第7回 男女共同参画作品募集事業 イクメン・料理男子フォトコンテスト

# 結果発表

父親の育児参加や男性の家事参加の促進を目的に、今年度で7回目を迎えたフォトコンテスト。今回はイクメン部門18点、料理男子部門8点の作品が寄せられました。市民投票や審査員選考の結果、ご覧の作品が選ばれました。ご応募ありがとうございました。フォトコンテストの審査員コメントや過去の受賞作品は、蕨市役所ホームページに掲載しています。

イクメン  
大賞



## 採ったどー!!!

おつか せいじ  
小塚 誠司さん

自分たちでつくったお野菜♡  
やっぱり美味しいね♡

## 休日のパパ

こはやし ゆか  
小林 由香さん

平日はお仕事で遅いパパ。お休みの日は子供たちとの交流を大切にしてくれています。公園に遊びに行けばママにはできないような体を使った遊びに息子も大喜びです。二人で夢中で遊ぶ姿を写真に撮りました。

イクメン  
優秀賞



イクメン  
優秀賞

## ホワイトデー♡

やへ みか  
矢部 美果さん

バレンタインデーに娘からチョコもらったパパ♡おかえしに手作りケーキを娘と2人で作りました。パパも楽しそう！娘も大喜びでした。

料理男子  
大賞



## 初めての料理♪

もうり なな  
毛利 奈々さん

大好きなわかめおにぎりを初めて作ってみました。「しおかげんだいじなんだよね…」っていう表情かな？この後、おいしくいただきました♡